

沢 渡 小 学 校

1. 川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所
好間川の根古屋橋付近
- (2) 土手の上から、川原のようす（広さ、位置）や水の流れを観察する。
 - ① 川原のようすや、水の流れなど川の全景をスケッチする。
 - ② 水の流れが曲がっている付近で、川原は内側にできているか、外側にできているか。
- (3) 川原に下りて、水の流れのはたらきを調べる。
 - ① 川原の近くと、向かい岸の近くとで、水の流れはどうか。
20 mの長さを測って、流れの速さを調べる。
 - ② 川原から向かい岸に進むにつれ、深さはどう変っているか調べてみる。
 - ③ 水中のぞき箱で川底をのぞき、川床にそって、砂やゴミが流れているようすを観察する。
- (4) 川原のレキを調べる。
 - ① 川原のレキや砂のつり方が平均しているような所を選んで、1 m四方の方形枠で囲う。
 - ② レキの大きさを分ける。
方形枠の中に入っている長径 5

